

「自由時間研究」投稿規定

2023年4月1日改定

1. 投稿の条件

- 1) 新規の論文発表であること。
- 2) 内容の一部が既発表であるが、新たな知見等を得て、関連論文等を発展させたものであること。
- 3) 筆頭投稿者（以下、「投稿者」という。）は、下記に該当する者とする。共著の場合は、投稿者が下記該当であればよい。なお、「自由時間研究」編集委員会（以下、「編集委員会」という。）が原稿を依頼する場合はこの限りでない。
 - （1）日本レクリエーション協会（以下、「日本レク協会」という。）が課程認定校として承認し、認可した学校の養成課程主任教員および養成課程科目担当教員。
 - （2）日本レク協会が課程認定校として承認し、認可された学校に在学中の学生（大学院生含む）。
 - （3）日本レク協会の公認指導者。
 - （4）その他、「自由時間研究編集委員会」に申し出て認められた者。
- 4) 投稿者は、論文原稿の種類を以下の中から選択することができる。なお原著論文、実践研究論文（査読あり）は、編集委員会が依頼した複数の査読者による審査を経た学術論文とする。
 - （1）原著論文（査読あり）：研究・教育・開発・調査などに関する学術的成果をまとめ、新規性・有用性に優れた論文。
 - （2）実践研究論文（査読あり）：教育や実践に貢献できる問題提起と意義、新規性があり、この分野において価値があると認められた論文。
 - （3）実践報告（査読なし）：現場から得られたデータに基づき、教育、実践などにおける成果や問題点をまとめた論文。
 - （4）特別寄稿：設定されたテーマに沿った依頼論文。
 - （5）書評。
 - （6）その他：大会案内、国際学会の報告、会員に有用な関連記事等。
 - （7）活動報告：関連する活動報告、定款、投稿規程、執筆要項、編集後記等。
- 5) 著作権や人権を侵害していないこと。
- 6) 日本学会会議の「科学者の行動規範」を遵守されていること。
- 7) 了解性が担保されていること。
- 8) 投稿論文等が、少なくとも、同じ分野の会員が十分理解できるように記述されていること。
- 9) 執筆要領を遵守していること。

2. 論文の募集と採否

- 1) 「自由時間研究」では、レクリエーション関連分野の研究、教育、実践の発展に寄与する知見を含む論文等を採用する。レクリエーション関連分野とは、公益財団法人日本レクリエーション協会発行物による理論や技術、実践等を指す。新しい知見が含まれた研究や実践など、オリジナリティに富んだ論文を特に歓迎する。

次の問題を含む論文等は、上記基準と関係なく不採用とする。盗用、ねつ造、改ざんされた論文、二重投稿された論文（注）、倫理指針に違反する論文、レクリエーションに関連のない論文、言語として問題が多く、理解不能な論文、執筆要領に従っていない論文。

（注）学協会または権威ある審査機関による審査を経た論文などが掲載されている学術刊行物を対象（言語を問

わない)とし、国内外の講習会、講演会、シンポジウム、会議等の予稿集、講演論文集、講演概要集、紀要、社内・所内報、学位論文に掲載されたものは含まれない。

- 2) 原著論文、実践研究論文の採否判定は「A. 採用」「B. 修正のうえ採用」「C. 修正のうえ再査読」「D. 不採用」からなり、「C. 修正のうえ再査読」の場合は、本会は投稿者に論文の修正・再提出を依頼する。再提出された論文等は再度査読される。再提出論文等における査読の採否判定は「採用」「不採用」のみとする。採否において、以下のルールを定める(表1)。原稿受理日から原則として3ヶ月以内に結果を通知する。

表1 査読における採否判定ルール

	査読者1	査読者2	採否
1	A	A	採用と判断
2	A (B)	B	修正された論文に対し本会が採用の可否を判断
3	A (B・C)	C	修正された論文を再査読し、査読者の結果を尊重して本会が掲載の可否を判断
4	A (B・C)	D	編集委員会の担当者が3人目の査読者として、査読を行い、本会が掲載の可否を判断
5	D	D	不採用

3. 執筆要領

- 1) 投稿原稿はMicrosoft Office Word等を使用し、A4サイズ(1ページ2段組24字×44行)で作成し、文と図、表、写真を張り付け印刷イメージで提出する。図表等はMicrosoft Office (Word・Excel・PowerPoint)、PDF、JPEG等の汎用ソフトを使用し作成する。採録が決定された場合は、本文を記録した図表含めた電子データ、図表を除いたテキストファイル、オリジナルの図、表、写真のデータの提出を求める。
- 2) 投稿原稿1編の長さは、原則として刷り上がり8頁(1頁は1,800字に相当)を上限とする。抄録(和文400字以内)、本文、図、表、写真、文献などすべて論文原稿1編の長さに含まれる。なお、図、表、写真は、それぞれ1点につき1枚の用紙を使用すること。規程枚数を大幅に超過した投稿原稿は原則として採用しない。ただし、「自由時間研究編集委員会」が超過を認めた場合に限り、採用となるが超過分にかかる印刷費用は投稿者負担となる。
- 3) 提出する投稿原稿は、オリジナル1ファイルと投稿者名・所属機関・謝辞・付記等を削除したコピー1ファイルの計2ファイルとする。
- 4) 校正は原則として1回行う。
- 5) 投稿原稿は原則として返却しない。
- 6) 投稿原稿は、冒頭に(1) 題目、著者名、所属機関、(2) 和文抄録(400字以内)、(3) キーワード3~5個を入れる。本文(注・文献を含む)は、和文原稿はMS明朝、英数字はCenturyを使用すること。論文作成にあたっては、倫理的側面に十分配慮し、生命研究倫理上で倫理審査を必要とする場合には、所属機関の審査委員会等で事前に承認を得て、論文中に委員会名および承認番号を明記すること。倫理審査を受けていない場合は、倫理的配慮について本文中に詳細を明記する。また、利益相反の有無および研究資金を明記する。
 - (1) 本文の構成は、はじめに、研究の方法、得られた結果、考察、まとめと残された課題、参考文献の順で書くことが望ましい。
 - (2) 見出しは以下のようにする。
 - 1.
 - 1.1.

1.1.1.

(1)

(3) 参考文献の書き方

本文中の参考文献の引用はバンクーバー方式，または，ハーバード方式等を選択し統一する。

和文・欧文を問わず，次の区切り記号（. , ）（ピリオド カンマ）は半角表記＋半角スペース1字とし，（: ）（コロン）は半角スペース1字＋半角表記＋半角スペース1字とする．次の記号（-（ ））（ダッシュ 右括弧 左括弧）は和文・欧文を問わず半角表記とする．

- ・バンクーバー方式は，論文等の最後に引用文献の記載順に一括し，本文に照応する番号を付ける．

（引用の本文標記例）引用者名に上付きで番号．

（例），佐近¹⁾によると・・・，涌井²⁾によると・・・

（雑誌からの引用）番号，著者名：論文表題，掲載雑誌，巻：頁（始頁－終頁），西暦年数．

（例）(1) 佐近慎平，金子勝司，仲野隆士：保育園の遊環構造の有無による運動能力差是正の試み，自由時間研究，42：3-11，2017．

Sakon S, Kaneko S, Nakano T. Attempt to correct difference in motor ability to circular play system of young children, *Leisure & Recreation* 42: 3-11, 2017.

（書籍からの引用）著者．章名．書名，発行所，引用頁，西暦年数．

（書籍本例）(2) 公益財団法人日本レクリエーション協会．2. レクリエーション支援の方法．アイスブレーキングの理解，公益財団法人日本レクリエーション協会，8-9，2021．

- ・ハーバード方式は，本文中に引用者名（発表年）を表記し，論文等の最後に著者苗字のアルファベット順で一括する．

（引用の本文標記）著者氏名（発行年）論文名-副題-，雑誌名，巻数（号数），頁（始頁－終頁）

（例）仲野（2022a）は…………… / 奥野（2022）は……………

……………といている（岡山 2022） / ……………といている（築山 2022b）

- ・同一著者の同一年度の文献を引用する場合は，2022a，2022bのようにa，b，cを付す．

- ・著者人数によって，下記のような表記とする．

単著の場合，（涌井 2022）および（Sakon 2022）

二名の著者の場合，（涌井・佐近 2022）および（Wakui and Sakon 2022）

三名以上の著者の場合，（涌井ほか 2022）および（Sakon et al. 2022）

（雑誌からの引用）著者（発表年）表題，雑誌名，巻数（号数），論文所在ページ

（雑誌例）佐近慎平，金子勝司，仲野隆士（2017）保育園の遊環構造の有無による運動能力差是正の試み，*Leisure & Recreation*（自由時間研究），42（1），3-11

Sakon, S. Kaneko, S. Nakano, T. (2017) Attempt to correct difference in motor ability to circular play system of young children, *Leisure & Recreation*, 42 (1), 3-11

（書籍からの引用）著者（発行年）書名．発行所，（引用頁を入れる場合は引用頁）

（書籍本例）公益財団法人日本レクリエーション協会（2021）レクリエーション支援の方法．公益財団法人日本レクリエーション協会，8-9

（HPからの引用）著者・WEBサイトの所有者（発表年）WEBページのタイトル．URL（参照日/ accessed）

（HP例）文部科学省（2022）生涯スポーツ．https://www.mext.go.jp/a_menu/05_d.htm（参照日 2022. 3. 30）

（HP例）OECD（2021）Starting Strong．<https://www.oecd.org/>（accessed 2022. 08. 05）

(5) 図および表の作成にあたっては、以下の点に留意すること。

- ①図・表は、印刷イメージ作成の際は、左上、左下、または、上部、下部。
- ②表は、表 1, Table2 のように通し番号を付け、題名を表の上部に記載する。
- ③図は、図 3, Fig. 4 のように通し番号を付け、題名を図の下部に記載する。
- ④誌面はモノクロ印刷となるので、図・表はモノクロでも見やすいように工夫する。

4. 投稿方法

投稿原稿は、PDF ファイルを電子メールにて下記まで送付する。その際、所定の「自由時間研究 投稿申請書」を添付すること。

E-Mail : n-rec@recreation.or.jp

公益財団法人日本レクリエーション協会「自由時間研究」編集委員会事務局

〒110-0061 東京都台東区台東 1-1-14 ANTEX24 ビル7階

TEL : 03-3834-1093 FAX : 03-3834-1095

5. 費用

- 1) 掲載料は原則として無料だが、次の場合には投稿者にその実費を負担してもらう。
 - (1) 規定枚数を超過した場合（超過した頁分に対して1頁につき1万円）
 - (2) カラー印刷など特殊な印刷を要する場合
 - (3) 別刷を必要とする場合（投稿者には掲載誌2部お渡しします。）
 - (4) 投稿者が課程認定校の養成課程主任教員および養成課程科目担当教員、課程認定校在学中の学生以外の場合（掲載料は論文1編につき2万円）

6. 著作権

- 1) 印刷版面を利用して複写・複製（データベース化等の変形使用も含む）し頒布すること、翻訳・翻案・ダイジェスト等により二次的著作物を作成して頒布すること、および第三者に対して転載を許可する権利は、日本レク協会に帰属する。投稿者自身にこれらの権利を制限するものではないが、再利用する場合には事前に日本レク協会に許可を得ること。

7. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

- 1) 調査研究の実施に際して、対象者のプライバシー保護は研究者に求められる重要な責務である。
調査内容に関する情報を記載する際は、プライバシー保護に配慮し、対象者が特定されないよう留意すること。
- 2) 文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を踏まえ、日本学術会議の声明「科学者の行動規範—改訂版—」や日本学術振興会「科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—」の内容のうち、研究者が研究遂行上配慮すべき事項について熟読し、十分に理解を深めること。
- 3) 大学等の設置する倫理審査委員会の承認を得た上で実施すること。

8. 規定の改定

- 1) 本規定の改定は、「自由時間研究」編集委員会が行う。

「自由時間研究」投稿申請書

投稿者氏名	
投稿者所属先	課程認定校の場合（主任 ・ 科目担当 ）／資格登録番号_____
	その他／資格登録番号_____
連絡先	〒 _____ TEL : — — FAX : — — E-Mail :
論文タイトル	
全著者名（所属先）	
投稿原稿の種類	※希望するもの1つを選択してください。 原著論文 ・ 実践研究論文 ・ 実践報告 現在、「自由時間研究」への投稿は「実践報告論文（査読なし）」のみとなります。
原稿の枚数	枚
チェックリスト	※確認したら、□に✓をしてください。 □ 表紙に、表題、著者名、所属機関、連絡先（E-Mail アドレスを含む）、 キーワード（3～5語）を明記していますか。 □ 図、表、写真は、それぞれ1点につき1枚の用紙を使用していますか。 □ 文献の記載方法は規程に即していますか。 □ 提出する原稿は、オリジナル1ファイルと投稿者名・所属機関・謝辞・付記 等を削除したコピー1ファイルの計2ファイルを用意していますか。

※事務局使用欄

①投稿者→「自由時間研究」委員会		②「自由時間研究」委員会→査読者	
③査読者→「自由時間研究」委員会		④「自由時間研究」委員会→投稿者	
⑤投稿者→「自由時間研究」委員会			

「自由時間研究」への投稿について

現在、「自由時間研究」への投稿は、『自由時間研究』投稿規程の「1. 投稿の条件」の4) に定める原稿中の「実践報告（査読なし）」のみとなっております。投稿原稿については下記を参照ください。

■投稿原稿の提出について

【提出期日】

2025年2月末日

【提出先】

〒110-0016 東京都台東区台東1-1-14 D's VARIE 秋葉原ビル7階
公益財団法人 日本レクリエーション協会 「自由時間研究」編集委員会事務局
TEL：03-3834-1091 FAX：03-3834-1095
E-mail：n-rec@recreation.or.jp

■投稿原稿の審査について

提出された投稿原稿は「自由時間研究」編集委員会にて審査後、掲載が適切であると判断された場合は2025年に発行される「自由時間研究」に掲載いたします。

■投稿原稿の執筆について

「自由時間研究」投稿規程に準ずる

■投稿原稿の作成について

「03_自由時間研究_執筆見本（実践報告用）」を参考に「04_自由時間研究_フォーマット（実践報告用）」にて作成する

■スケジュール（予定）

2025年2月末日 投稿原稿の提出締め切り

- 3月中旬 「自由時間研究」編集委員会にて審査
- 3月下旬 「自由時間研究」への掲載の諾否通知
- 4月初旬～「自由時間研究」掲載に向けた編集作業
- 6月下旬 「自由時間研究」発行